

Title	思い出の記
Author(s)	辻野, 直三郎
Citation	makoto. 1977, 20, p. 2-2
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/86158">https://doi.org/10.18910/86158</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 思い出の記

財団法人 大阪防疫協会

理事長 辻

野 直三郎

はじめに

創立三十周年を迎えるに際し不敏の私達に対して、かわらない暖かい御指導、御鞭撻を賜わりました大方各位にここにあらためて深甚の御礼を申し上げますと共にさらに一層の御支援を下さいますよう切に御願ひ申し上げます。

思い出

三十年にわたる思い出の中にその一端を偲ぶことと致したい。

◎大阪美化展と夏季衛生展覧会

昭和二年八月一日から八月二〇日まで大阪府、大阪市、大阪朝日新聞社、大阪防疫協会主催のもと大阪軍政部後援で「大阪美化展」が開催された。これが経費として大阪府、大阪市、大阪防疫協会が各々五萬圓を分担した。朝日新聞社には主としてこれが美化展の周知宣伝方を御願ひしたがその開催目的は伝染病予防対策で都市の清掃に關し市民の認識を高め大阪市街の美觀と防疫の實を挙げようとするものであった。

場所は当時の松阪屋百貨店

(南区日本橋筋三丁目)とし、会場工作担当として株式会社くろふね社、松阪屋企画部に当らせられた。最も苦心した展示物は左記のような内容である。

1. 大阪軍政部貸下資料
2. 上下水道に關する資料器具
3. 大阪市の上下水道の現況
4. 塵芥処理尿尿処分の現況とその改善に關する写真、統計
5. その他の資料
6. 便所に關する資料
7. 井戸に關する資料
8. 蛾族昆虫に關する資料
9. 防臭剤、防虫、駆虫、駆そ剤及びその使用方法
10. 消毒と清掃
11. 都市計画と衛生工学
12. その他清掃に關する資料

八月一日には午後二時より同百貨店において土田衛生部長、稲葉府会副議長長外出席のもとに大阪府下における清掃功勞者の表彰式が行われた。また最終日の八月二〇日には赤間知事が視察に来場せられる等美化展の有終を飾った。

観覧者は一日平均二〇〇名計四〇〇〇名に達した。なお昭和二六年八月一日より八月二五日まで大阪府、堺市共催の夏季衛生展覧会が堺市龍神会館において開催されたが当協会においてはこれが後援のための寄附並びに宣伝マンチに「手を洗へ」「注射はすんだか、チフスがくるぞ」の標語を記載して入場者に頒布を行った。

◎曾根崎警察署屋上放送施設  
かねて協会設立後公共放送宣伝施設の必要性を痛感し葛間署長に対しこれが設置の議を要請中のところその英断の処置をもつて許され、これが工事を左記により実施した。

工事請負者  
東区北浜五丁目二二  
日本建設産業株式会社  
機械一式 一〇万二千元  
工事費 二万二千元  
内訳  
日本電気株式会社製  
二〇一型増幅器 三万円  
六一八一Bマイクrohホン 二万五千元  
(以下略)

昭和三年一月六日午後一時三〇分土田衛生部長、井手防疫、志水公衆衛生、伊藤予防各課長、協会側より吉津会長、塩野副会長、辻野主事が出席して先づ吉津会長の第一声により初放送を行い引続いて各課長の主管事項について放送が行われたが特に税務当局からの依頼に基いて府民の納税のための協力依頼を訴えた。この放送は二年近く行われたが夜間の如きは野田阪神駅附近まで明瞭に聴取できたとの評判であった。

◎雑誌「ヘルス大阪」について  
現在協会の機関紙「まこと」が発行出来るようになり五年を経過することになったがそのことについて二度と失敗の記録を作らないようにと重大な決意をもって取りかかったのである。その理由は私達が発行編集など

妄言多謝

心境 直堂

想起す三十年発願の香

世情騒然衝を失ふの秋

心機一転挺身して緒道に立を。